



**韓国国際障害者ダンスフェスティバル  
招聘公演のご報告**

**2016年10月  
Api-Lucky**

[事務局]有限会社オフィスルゥ内  
155-0032 東京都世田谷区代沢 5-29-12-301  
Tel: 03-3413-4139  
<https://www.facebook.com/apilucky.dance/>

## 【フェスティバル概要】

韓国国際障害者ダンスフェスティバル

Korea International Accessible Dance Festival (2016 KIADA)

会期：2016年9月8日～10日

会場：アルコ芸術劇場 大ホール／小ホール  
ソウルダンスセンター（ワークショップ）

料金：全席 10,000 ウォン（各種割引あり）

主催：光音の友（Light Sound Friends）

主管：韓国国際障害者ダンスフェスティバル組織委員会

後援：大韓民国文化体育観光部

韓国障害者芸術文化センター

韓国障害者文化芸術団体連合会

協賛：西大門聴覚障害者福祉センター

ハンウリリハビリテーションセンター

ミラル福祉財団

## 【プログラム概要】

	9月8日	9月9日	9月10日
18:00 劇場ロビー	オープニング／レセプション		
20:00 大ホール (10日は 16:00)	韓国「Signal: The wisper of Dance」 韓国「CoExist」 韓国「Spring, that blows with warmth」 ドイツ「Body Realities」	韓国「Danceable」 韓国「Hellen Keller」 日本「鬼の愛した森 (The Forest of Love)」	韓国「Come!Come!」 フィンランド「Miss Catastrophe」 スペイン「Petit Cyclamen」 アメリカ「Tenement」
16:00 小ホール	韓国「The Meeting」 韓国「Magnifying Glass」	韓国ソロパフォーマン ス（4人）	
ソウルダン スセンター		ワークショップ 12:00-14:00 ドイツ 14:20-16:20 スペイン	ワークショップ 10:00-12:00 日本 13:00-15:00 ドイツ

## 【メンバー】

No	出演者	No	同行者
1	香瑠鼓 Kaoruko		
2	Cu タツヤ Tatsuya Cu		
3	美木 マサオ Masao Miki		
4	野沢 遥花 Haruka Nozawa	9	野沢 里嘉 Rika Nozawa
5	大窪 真椰 Maya Okubo	10	大窪 俊子 Toshiko Okubo
6	吉田 由香 Yuka Yoshida	11	吉田 正志 Masashi Yoshida
7	篠塚 俊介 Shunsuke Shinozuka	12	篠塚 いづみ Izumi Shinozuka
8	松山 愛 Naru Matsuyama	13	松山 幸子 Sachiko Matsuyama

※このほか、支援団長の称宜澤愛理さんを含む6人の皆さまが応援に駆け付けてくださいました。

## 【収支報告】

### 収入

支援総額 1,083,248 円	寄附・募金 781,360 円 (72%) (アルソア本社様およびたくさんの個人・団体の皆様)
	事業収益 301,888 円 (28%) (バースデーライブ、チャリティサロンなどの参加者の皆様)

※このほか、カネボウ化粧品様より「コフレドール」ブランドの化粧品をご提供いただきました。

### 支出

公演総額 827,486 円	渡航費 372,080 円 (航空券 8 名分、国内交通費)
	謝金 251,000 円 (演出補、プロパフォーマンス、通訳、翻訳)
	制作費 204,406 円 (事務費、交流費、雑費)
繰越金 255,762 円	衣裳費を自己負担し、照明・音響費を節減したため。 繰越金は「Api-Lucky」の今後の活動に充てさせていただきます。





### 【香瑠鼓よりメッセージ】

アメリカ、ドイツ、スペイン、フィンランドなど、様々な国の障害者を含むチームが一堂に会して公演する「韓国国際障害者ダンスフェスティバル」。その理事長が私達を大変気に入ってくださり、私達 Api-Lucky と韓国のフェスティバル実行委員会との関係が、世界に広がるより大きなフェスティバルにつながると言ってくださった。

オープニングセレモニーでは、「私達の大切な友人、日本〜！」と日本語で最後に紹介され、ちょっと踊ったらブラボーの声がかかる。フィンランドの振付家がメンバーのゆかちゃんを指名して一緒に踊り、誇らしかった。

そして本番、作詞作曲し韓国語を交えて歌う「ひかりの樹」の振り付けを、観客の皆さんがやってくくださり、更に頭の上で手を叩きながらの大歓声に感動した。泣いている方もいたと聞いた。



障害のあるメンバーが自然界の精霊達を演じた。相変わらず、気負う事なく自分の世界を展開、喝采を浴びた。即興で演じることで個性を引き立たせ、完璧にならなくてはいけないという呪縛から、自由にさせる。

特に車椅子の俊介さんが、世界中を飛び回っているフィンランドのプロデューサーから、貴方はヒーローだ！動かない身体の潜む力強いパワーと、メッセージが読み取れたと言って頂いた。（号泣）



次の日のワークショップも、韓国側参加者の素直さに感動！

自分の感情を人前で出せなかった通訳の女の子は泣いていた。車椅子で果敢に挑戦し、繊細な感情を表現してくれた男性は、人権の問題を職業としているらしい。

日本からのサポーター達もありがたく、なんと幸せで充実した体験であったか！！

この場をお借りして、支援していただいた方たちに心から感謝の気持ちをお伝えします。

ほんとうにありがとうございます！

皆の想いを感じ、世界平和に役立てるように一生懸命やって、大成功できた。

20年以上、バリアフリーの舞台やワークショップを続け、諦めようと思った事はない。

障害のあるアーティストたちは、未知の可能性が華開いてきた。

ゆかちゃん、俊介さんは初めてワークショップに参加した頃の状況から、あり得ない飛躍だったと親御さん達が喜んでくださった。

キャストであり、助けてくれたタツヤさん、マサオ君、プロデューサーの梨華さんなど、もうほんとうにたくさんの方達が親身になって支えてくださる。

長い間の苦勞が吹き飛び、今が一番幸せとしみじみ感じる。

皆様、ありがとうございました！

香瑠鼓（2016-9-12 ブログより）

## 【参加メンバーからのメッセージ】 ※50 音順

### ●大窪真椰

海外公演なんて初体験なので、どうなるのか不安と緊張でしたが、プレビュー公演を皆様に観ていただいたことが、とても自信になりました。

滞在中の4日間は、ずっと踊りっぱなし。その分しっかりとリハーサルができ、最高のパフォーマンスができました。

初日に劇場の舞台の広さを見てびっくりしましたが、レッスンスタジオが近かったのでそのイメージをもって練習しました。公演の当日は、照明テスト・撮影・本番と3回踊ったので、緊張感は無くリラックスして本番を迎えられました。そして本番でのお客様の熱気と拍手を感じた時が、とても嬉しかったです。

4日目のワークショップは、韓国の方や応援メンバーと一緒に踊ることができ楽しかったです。

公演に参加させていただけて、素晴らしい体験ができたこと、応援してくださったたくさんの皆様に心から感謝いたします。

### ●大窪俊子

娘の公演に同行させていただきました。

入念な打ち合わせとリハーサルを重ね、そして演じる個々の方々の無限の可能性をもったパフォーマンスに、客席と舞台が一体化していくのを、客席で肌で感じました。

国を超えて感動を分かち合えたことが、とても素晴らしかったです。

この公演にご賛同くださった多くの皆様、はるばる応援に駆けつけてくださった応援メンバーの方々に改めてお礼申し上げます。

### ●C ユタツヤ

下北沢で行われたプレビュー公演をはじめ、数々のイベントにて多くの声援とご支援金をいただき、誠にありがとうございます。日本代表としてバリアフリーダンスカンパニー韓国公演に関われたこと嬉しく思います。

私が今回、印象的だったことは、3つあります。

1つ目は、非常に広い劇場に、2日間でのリハーサルで対応し、本番に臨むメンバーの姿です。日本で行ったプレビュー公演の広さの10個分もあるほどの広い舞台に変換していく作



業。日本でも段取りを考えて挑みましたが、その想像をはるかに超える彼らの自由さと大胆さに、逆に大舞台である必要性を感じました。

2つ目は、ほとんどが初めての人たちに観てもらおうという緊張の中で、到着した日本からの応援団の皆さんに心救われたことです。リハーサルと本番と同じように通すドレスリハーサルを終えた私たちは、身体を休ませ心も本番に向けて高ぶっていました。その舞台裏に現れた応援団メンバー。そして、それを見つけたバリアフリーメンバーの安堵と笑顔。人と心と肉体と精神がみな繋がっていることを実感した瞬間でした。

3つ目は、オープニングセレモニーでの由香さんとフィンランド代表のミス カタストロフさんのパフォーマンス。いつでも、誰の前でも、どんな状況でも、何も変わらず踊る由香さんに日本人の心をもつ者として非常に誇らしく感じました。



公演は大成功に終わり、主催の代表の方には、「トケビ(鬼)」、海外のパフォーマーには「ogre(鬼)」、とたくさん言って頂き、大変嬉しく思いました。特に、ドイツの代表の方とお話をしていて、「君はジャパニーズカルチャーのアニメを見ているようだ」と言って頂きました。鬼の表情、動きが、舞台上に生きていてくれました。また、最後の曲の“ひかりの樹”では、応援団が入って来てくれ、その有志と誇らしさが伝わり私の緊張もほぐれ、より広く舞台を捉えることができました。その時、嬉しくて、何度かジャンプした感覚を今でも覚えています。床がトランポリンのように変化し、私の体はビョンビョン高くバウンドし飛び上がったこと。仲間が与える心への影響、やすらぎ、それらが肉体に表れ、それが心の表現と繋がることを実感しました。アメリカの代表の方がジェスチャー付きで「Jump, Good!」と指摘してくれました。

4日間の韓国での日々で、日本の心を少しでも交流できたと思います。

素晴らしい機会に巡り会え、誠にありがとうございます。



#### ●篠塚俊介

韓国公演ではバリアフリーメンバーとパフォーマンスが出来て嬉しかったです。劇場は広くてリハーサルでは身体が思うように動かなかったけれど、香留鼓さんとメンバー、日本からの応援団の皆さんの心がひとつになって、本番ではパフォーマンスに集中出来ました。



そして、終演後にフィンランドの方から香瑠鼓さんを通じて「あなたはヒーローだ。」と言われた事がとても印象深かったです。今回ご支援頂いた皆さまに心から感謝します。

### ●野沢遥花

韓国に行くのは初めてでしたが精一杯みんなと一緒に踊れて楽しかったです。韓国語いっぱい覚えられなかったけど「カムサハムニダ」とコミュニケーションをとれたのが嬉しかったです。大きな劇場で緊張したけど舞台の上はキラキラしていて彼岸花に近づけた気がしました。いっぱいの拍手がすごく嬉しかった、、、  
また、韓国に行って踊りたいです。



### ●松山愛

韓国では全く知らない観客の方々の前での初舞台で大変緊張しました。

ソロの部分では、18メートルの広さに圧倒されてお客様を見る余裕がありませんでしたが、できるだけ大きなパフォーマンスをするために横転の回数を増やして頑張りました。とっても楽しく色々な学びがありました。



他の出演者のダンスも素晴らしかったです。なかでも車椅子のパフォーマンスはとてもステキでした。また韓国に行ってたくさんの冒険をしていきたいと思います。

今回は韓国公演のためにたくさんの方々のご支援をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。

そして応援にいらしていただいた皆さま本当に心強かったです。

皆さまありがとうございました。

### ●美木マサオ

みなさま、美木マサオです。たくさんのご支援を本当にありがとうございました。みなさまの温かいお心が、とても大きなパワーとなって、無事韓国公演、行ってまいりました。

たくさんのお奇跡のようなエピソードがありましたが、それらは他のツアーメンバーも語っているかと思われますので、また違う視点から。

今回のフェスティバルは韓国からも10チームほど、また複数の国のチームが参加しておりました。

僕はウォーミングアップなどの時間に、他のチームのリハーサルをいろいろと見ておりました。車椅子の常識では考えられないようなアクロバティックな動き、義足のダンサーの味わい深い踊り、ダウン症の方の心が躍るダンス、そんな素晴らしいチームばかりでした。そして、我々日本チーム。

結果は大好評で！！ そして、関係者の皆様がとても好意を持ってくださいました。

この素晴らしいイベントに参加でき、世界各地のパフォーマーと心の深い部分で繋がれた。

それは未来への光を感じる出来事でした。

みなさまのおかげで感じられたこの光を見失わず、これからも精進していきたいと思えます。本当にありがとうございました！



### ●吉田由香

韓国に行きました。かおるこ先生とみんなとってうれしかったです。笑顔でがんばりました。フィンランドの人と二人で踊りました。よかったです。私は、また行きたいです。ありがとうございました。

### ●吉田正志（由香パパ）

#### 前日：オープングレセプションでの出来事

俊介さんと由香は遅れてオープングレセプションに参加しました。本来参加の予定ではなかったのですが、香瑠鼓先生から「何かあるかわからないから、19 時前には会場に来てほしい」と言われていました。レセプションは後半を迎えており、正面の舞台では生演奏が行われていました。タツヤさんが由香を Miss Catastroph (フィンランドのパフォーマー) さんに紹介してくれました。後からわかったことですが、この時 Miss Catastroph さんは、会場の中から誰か 1 人一緒に踊ってくれる人を探していたらしいのです。その 1 人に由香が選ばれました。初めて会ったばかりで、言葉もわからないのに何故選んでもらえたのか不思議でした。

男性の歌声に合わせて、2 人で手を取り合っ



感じとりながら、気持ちを伝えあいながら踊りました。突然の出来事でしたが、2人の息の合った踊りは、見ている人達に驚きと感動をあたえ、このハプニングで会場は大いに盛り上がりました。即興で踊れることの素晴らしさ、ことばが通じなくても踊りで相手を理解することができる素晴らしさを味わった気がしました。

#### 当日：ビデオ撮り、そして本番

本番前にビデオ撮りがありました。本番とまったく同じ内容で演技をしました。演技終了後、突然、俊介さんが泣き出しました。観客席で見ていた私は「素晴らしい出来で、感動して泣き出したのだろう」と思っていました。よく話を聞いてみると、「体が思うように動かなくて悔しかった」とのことでした。俊介さんの演技に対する真剣さと熱意が伝わってきました。

「鬼の愛した森」本番。この前に韓国の2つの演技がありました。韓国の観客は、拍手をし声援を送り、感情豊かに見てくれており、会場はおおいに盛り上がっていました。この観客に、「鬼の愛した森」がどう映るのか、受け入れてもらえるのか、少し不安な気持ちがありました。

本番が始まりました。日本的な音楽に合わせて、2人の青年（マサオさん、タツヤさん）と精霊たち（俊介さん、真椰ちゃん、遙花ちゃん、由香）、女武将（香瑠鼓先生）と白い鳥（なるちゃん）の8人の演技が進んでいきました。タツヤさんが鬼に変わったあたりから、観客は身を乗り出して見ていました。俊介さんと鬼になったタツヤさんの絡みの場面は、自然と涙がこぼれてきました。今でもその場面を思い出すと、胸に熱いものが込み上げてきます。そして、鬼になった青年が精霊に助けられ元の青年にもどり、新しい世界が展開されました。日本から駆けつけてくれたサポーターの方々も参加して「ひかりの樹」を踊り、演技が終了しました。客席からは盛大な拍手と歓声が沸き上がりました。

「鬼の愛した森」は韓国の方々にも受け入れられたことを実感しとてもうれしく思いました。この作品は、ストーリーが奇抜でわかりやすく、構成・演技に創意工夫が作り込まれており、さらに各メンバーの役割が的確なので、何回みても感動する味わい深い作品です。海外の方ふくめ、多くの方に見ていただきたいと思いました。

#### 翌日：ワークショップ

昨日の本番の興奮を引きずりながら、ワークショップ会場のソウルダンスセンターへバスで向かいました。ダンスセンターは小高い丘の上であり、細く曲がりくねった道を、車や建物をすれすれでかわしながら登っていく運転手さんのテクニックに、自然と拍手と歓声が起こりました。

韓国から、メンバーにすぐに溶け込み、通訳で大活躍してくれたヨナさん、大会本部のサ

ンさん（広島大学在学中）や一般参加の人を加えて5人が参加してくれました。いろいろなメニューをこなしながら、自分を無にしてありのままを表現することを体験しました。自分を無にする事の難しさ、そして自分の壁を乗り越えたときの解放感…サンさんは感動のあまり涙していました。参加した人達にとって、とても有意義なワークショップになりました。ハプニングあり、涙あり、感動あり、そしていつも笑いありの韓国公演でした。

#### ●吉田美由紀（由香ママ）

韓国での公演では舞台だけでなく、そのことで出会うことのできた方々や全ての事が良い経験となり、由香のこれからは繋がっていくものと信じています。たくさんの人に支えていただき実現できた公演です。ありがとうございました。



#### 【支援団長からのメッセージ】

この度は、長年お世話になっております香瑠鼓さんに何か恩返し出来ればと、自ら、本年度の韓国公演の支援団長を希望して、クラウドファンディングの募金や韓国公演ツアー参加者を募集して盛り上げさせていただきました。

お陰様をもちましてクラウドファンディングの目標金額 100 万円を達成することが出来ました。

また、韓国ツアーは、6名の参加者で応援に行き、本番の最後にはバリアフリーメンバーとして出演者と踊り、思い出に残る感慨深い時間を過ごして参りました。韓国公演は、大成功でした！

特に、募金に関しましては多くの方のご賛同をいただきましたこと、何度も何度も都度、募金下さった方、わからないように募金箱に多額を入れて下さいました方、いろんな形で応援下さいましたことをこの場をかりて御礼申し上げます！

ありがとうございました！！

私も恩返しなどと申しながら、思いきりエンジョイさせてもらいました(^-^)/。



2016Api-lucky 韓国支援団長 祢宜澤愛理

**【ご支援ありがとうございました】** ※順不同

渡並琢磨さま

内海智子さま

プレビュー「鬼の愛した森」ご来場の皆さま および 募金協力者の皆さま

バリアフリー5の皆さま

東郷千里さま

前川亜美さま

鈴木元子さま

小宮求茜さま

井上智子さま

小杉俊哉さま

若子理愛子さま

株式会社カネボウ化粧品さま

ござっせ会さま

中田 保さま

鈴木由美子さま

api-sai「まどれーぬ劇場 ソプラノ笛を持つ僧と4人の小町たち」参加者の皆さま

堺 祥子さま

中嶋久美子さま

渡邊将介さま

api-sai「3つのソロ公演」参加者の皆さま

飯田文衛さま

大となり会祭 SP 参加者の皆さま、戸成嘉則さま

高萩直子さま

村越恵美さま

前田美代子さま

谷向弥緒さま

平野敦子さま

高津晴代さま

奈良橋陽子さま

山本稚輝さま

カオルコ・バースデー・パフォーマンスライブのご来場者の皆さま および 募金協力者の皆さま

アルソア本社株式会社さま

大塚みどりさま

ソーシャルゴルフアーズポート および あびラッキーチャリティサロンご来場者の皆さま

UHA 味覚糖株式会社さま

上にまいります！HAPPY！あび百貨店のご来場者の皆さま

NPO MHNC さま および ゴルフコンペ参加者の皆さま